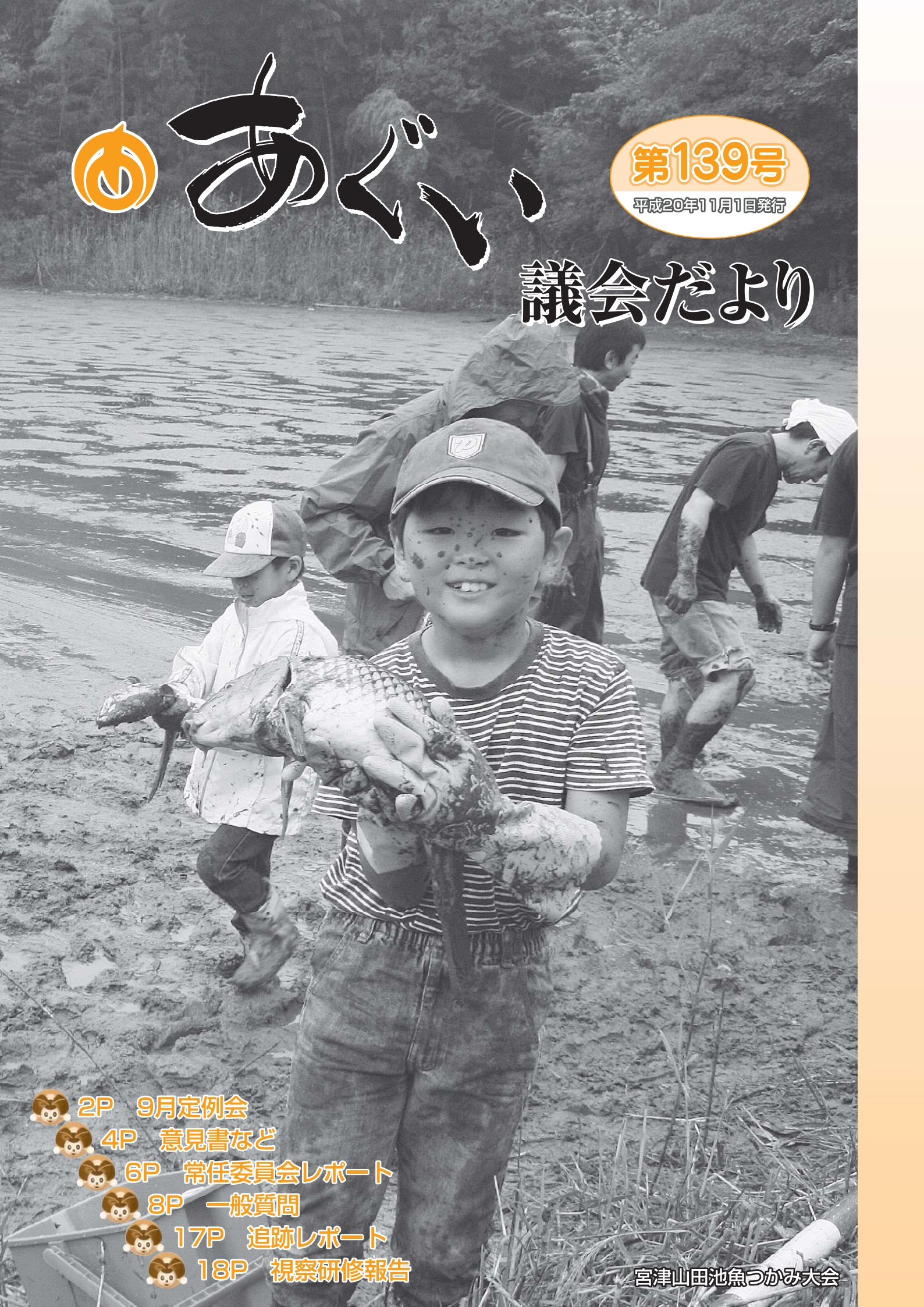


あぐい

第139号

平成20年11月1日発行

議会だより



- 👤 2P 9月定例会
- 👤 4P 意見書など
- 👤 6P 常任委員会レポート
- 👤 8P 一般質問
- 👤 17P 追跡レポート
- 👤 18P 視察研修報告

宮津山田池魚つかみ大会

平成20年第3回定例会



あぐびっぴ運動会(阿久比スポーツ村)

認定

平成19年度一般会計歳入歳出決算

反対討論

杉野 明議員

定率減税の廃止による増収は6580万円、こうした増収がありながら、行政改革の名のもとに、平成19年度は平成17年度比1300万円の補助金をカットしている。4年間毎年5%補助金を削減していくことはいかなるものか。

賛成討論

稲葉 景久議員

歳入歳出は、実質収支3億8500万円の黒字。事業では、防災対策、少子高齢化対策の拡充、ゆとりを持った教育の整備充実、くらしの中の安全安心など、町長の所信表明を着実に実行された事を高く評価します。

可決

平成20年度一般会計補正予算

反対討論

杉野 明議員

反対理由は、住民税年金特別徴収対応業務委託料1884万円は高齢者から介護保険料、住民税を本人の了解無く年金から「ピンはね」するようなもので到底認められない。

賛成討論

大村 文俊議員

総務費のうち町税賦課事務費の住民税年金特別徴収対応業務に係わる補正については、平成21年10月から始まる住民税の公的年金からの特別徴収システム整備に必要なことと考えます。

可決

公益法人等への職員の派遣等に関する
条例の一部改正

反対討論

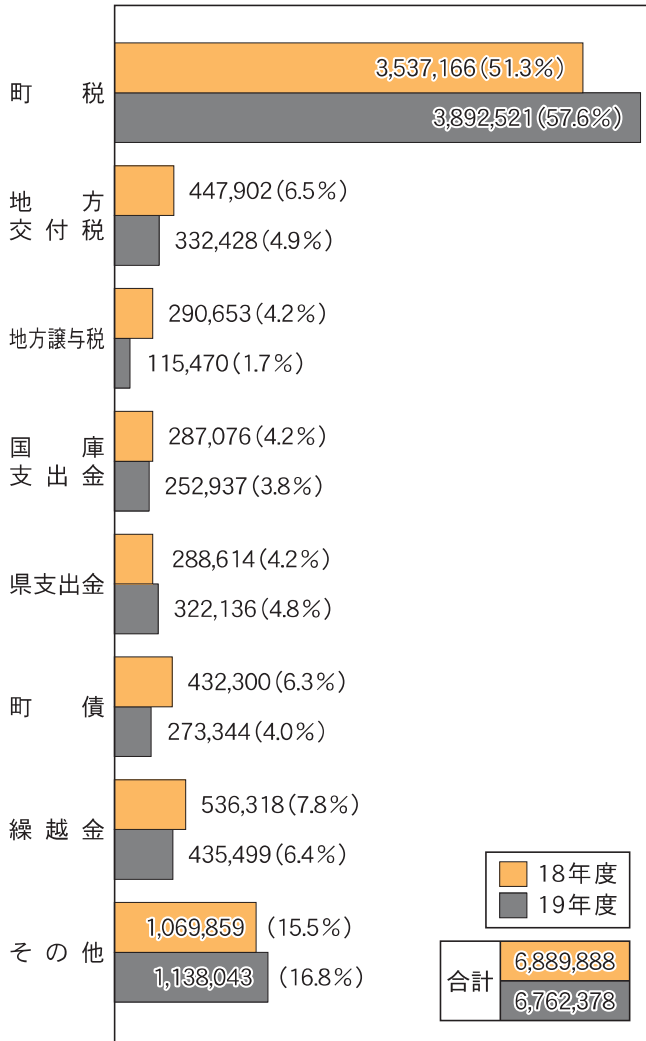
杉野 明議員

正規職員を少なくし臨時職員で対応している阿久比町にとって職員を限りなく民間に近いところに派遣するおそれがあるので反対です。

平成19年度一般会計決算

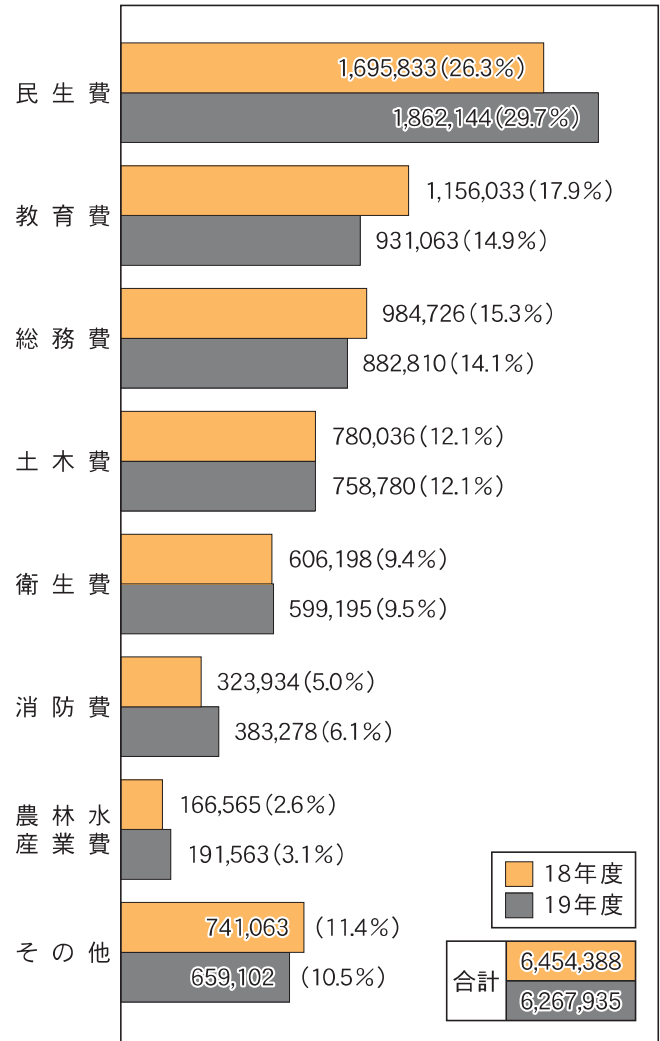
歳入

(単位：千円)



歳出

(単位：千円)



平成19年度特別会計・企業会計決算

(単位：千円)

会計区分	歳入額	歳出額	差引額	
国民健康保険	2,368,391	2,234,330	134,061	
老人保健	1,599,878	1,582,695	17,183	
土地取得	303	303	0	
下水道事業	688,491	662,224	26,267	
介護保険	1,186,606	1,113,402	73,204	
水道事業	収益の収支	476,053	476,687	△634
	資本の収支	56,929	87,750	△30,821

意見書

町民の声を内閣総理大臣などに提出

可決 地方の道路整備の促進と財源の確保に関する意見書 提出者 澤田 道孝議員

可決 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書 提出者 稲葉 景久議員

可決 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書 提出者 竹内 貞和議員

可決 愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書 提出者 大村 文俊議員

否決 後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書 提出者 杉野 明議員

賛成討論 枘内美渡子議員

政府は新聞折り込み等の広報費用に8億円使った。「改善されました」と宣伝を繰り返さなければならないこと自体が、小手先の手直しを意味し、国民の求める「安心な医療」と制度がかけ離れていることを示している。

否決 後期高齢者医療制度を選択しない65歳～74歳の
障害者に医療費助成制度の適用を求める意見書 提出者 枘内美渡子議員

賛成討論 杉野 明議員

愛知県では、障害者医療費助成を受ける時、同制度への加入が条件。事実上の強制加入だ。これに対し、政府の見直しでは、「自治体独自の医療費助成事業」なども、自治体に「適切な対応を求める」ことを決めました。

可決 食料自給率の向上を求める意見書 提出者 杉野 明議員

否決 国民生活を守るため原油・燃料高対策を求める意見書 提出者 枘内美渡子議員

賛成討論 杉野 明議員

原油高騰が一時より下がったとはいえ、高止まりで推移している。原油高・燃料高対策は所得が上がっていない中小業者には死活問題だ。自治体で取り組んでいる内容を紹介し賛成討論とする。

決 議 案

否決 安心して子育てできる制度の確立を求める意見書決議 提出者 杉野 明議員

賛成討論 枘内美渡子議員

安心して子育てができる町に。子育て世代を応援する緊急で切実な取り組み。子育て世代の悩みは、子育てにお金がかかること。中学校卒業までの医療費無料化と妊産婦検診は必要とされる産前14回以上の無料化の実施をされたい。

平成20年度補正予算

(単位:千円)

	補正額	補正後の額
一般会計	10,192	6,448,536
国民健康保険特別会計	81,203	2,458,136
下水道事業特別会計	(注) 0	983,940
介護保険特別会計	23,204	1,240,067

(注) 歳入内での財源補正

諮問

人権擁護委員の推薦

大村峯子氏(福住・再任)

法務大臣へ推薦されました。

同意

教育委員会委員の任命

戸嶋達二氏(宮津・再任)

10月1日より就任されました。

議案等

- ◎全員賛成可決
- 賛成多数可決
- ×否決

議案

- ◎阿久比町ふるさと基金条例の制定について
- ◎地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- ◎阿久比町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
- ◎阿久比町監査委員に関する条例の一部改正について
- ◎公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について
- ◎阿久比町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ◎阿久比町使用料条例の一部改正について
- ◎阿久比町母子家庭等医療費支給条例等の一部

認定

- 改正について
- ◎阿久比町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- ◎平成20年度阿久比町一般会計補正予算(第2号)
- ◎平成20年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ◎平成20年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ◎平成20年度阿久比町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ◎阿久比町議会議規則の一部改正について
- ◎阿久比町議会議政務調査費の交付に関する条例の一部改正について
- ◎平成19年度阿久比町一般会計歳入歳出決算認定について
- ◎平成19年度阿久比町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎平成19年度阿久比町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎平成19年度阿久比町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について

同意案

- ◎平成19年度阿久比町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎平成19年度阿久比町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◎平成19年度阿久比町水道事業会計決算認定について

諮問

- ◎教育委員会委員の任命について
- ◎人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

意見書

- ◎地方の道路整備の促進と財源の確保に関する意見書
- ◎学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書
- ◎国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
- ◎愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書
- ◎後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書
- ◎後期高齢者医療制度を選択しない65歳〜74歳の障害者に医療費助成制度の適用を求める意見書
- ◎食料自給率の向上を求める意見書
- ◎国民生活を守るため原油・燃料高対策を求める意見書

決議案

- ×安心して子育てできる制度の確立を求める意見書決議

陳情

- ・過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書提出に関する陳情書
- ・公共事業を防災・生活関連に転換し、関係事務所の執行体制等の拡充を求める陳情書
- ・国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- ・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
- ・市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書

常任委員会

レポート



汗を流そう



総務文教

スポーツ村トレーニング室を移転

当委員会に付託されましたのは、9議案及び2決算認定であります。

主なものは、ふるさと基金条例の制定、使用料条例の一部改正で、スポーツ村トレーニング室使用料に回数券の作成とシャワー使用料が新設されました。一般会計補正予算では、住民税金特別徴収対応業務委託料1900万円余を追加するものです。

8件全員賛成、3件賛成多数にて可決認定しました。

(稲葉景久議員)

建設厚生

進む下水道工事

当委員会に付託されたものは母子家庭等医療費支給条例等の一部改正、平成20年度一般会計及び特別会計補正予算4件、平成19年度一般会計及び特別会計決算認定6件の合計11件です。

一般会計補正予算の主なものは、町道108号線(草木地区)のバイパス工事を行うため、平成21年度に、認可申請できるよう調査設計委託料を440万円追加するものです。

以上慎重審査の結果、すべて可決及び認定しました。

(澤田道孝議員)



下水道工事(草木地区)

平成20年 第3回定例会は次の日程で行われました

●一般質問受付 8月27日8時30分から29日12時まで

会期 9月4日(木)から9月17日(水) 14日間

9月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ● 全員協議会 ● 本 会 議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開 会 ・ 会議録署名議員の指名 ・ 会期の決定 ・ 町長諸般報告 ・ 一般質問 (7名) 	<p>定例会とは、 定例的に招集される議会の会議で、3月・6月・9月・12月に招集される。</p>
9月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ● 全員協議会 ● 本 会 議 ● 精読会 (一般会計) <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般質問 (2名) ・ 条例等、補正予算→上程・質疑・付託 ・ 決 算 →上程 	<p>全員協議会とは、 議員全員が集合し、将来議決される問題その他について協議するために開かれる会議のことをいう。</p>
9月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ● 精読会 (特別会計) ● 本 会 議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 決 算 →質疑・付託 	<p>精読会とは、 決算書の項目別の内容説明会。</p>
9月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ● 総務文教委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案説明・質疑・現地調査・討論・採決 	
9月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設厚生委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 議案説明・質疑・討論・採決 	
9月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ● 各常任委員会 (委員長まとめ) ● 議会運営委員会 	
9月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ● 全員協議会 ● 本 会 議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長報告 →質疑・討論・採決 ・ 同意案/諮問 →上程・採決 ・ 意見書案 →上程・質疑・討論・採決 ・ 決 議 案 →上程・質疑・討論・採決 ・ 議員提案議案 →上程・質疑・討論・採決 ・ 閉 会 	

議会日誌

- | | | | |
|-------|-----------------|-------|--------------------|
| 6月24日 | ・阿久比町安全安心町民大会 | 8月1日 | ・第22回愛知県町村議会広報研修会 |
| 7月16日 | ・知多中部広域事務組合議会 | 8月8日 | ・知多地区道路整備促進期成同盟会総会 |
| 7月17日 | ・阿久比町青少年問題協議会 | | ・阿久比川水系改修期成同盟会総会 |
| 7月28日 | ・知多地区農業共済事務組合議会 | 8月19日 | ・知多地区農業共済事務組合議会 |
| 7月31日 | ・阿久比町献血推進協議会 | 8月26日 | ・東部知多衛生組合議会 |

Q&A

一般質問

ここが聞きたい

町政を問う

第2回定例会で採択された請願4件について

引き続き国及び県等へ要望をしていく



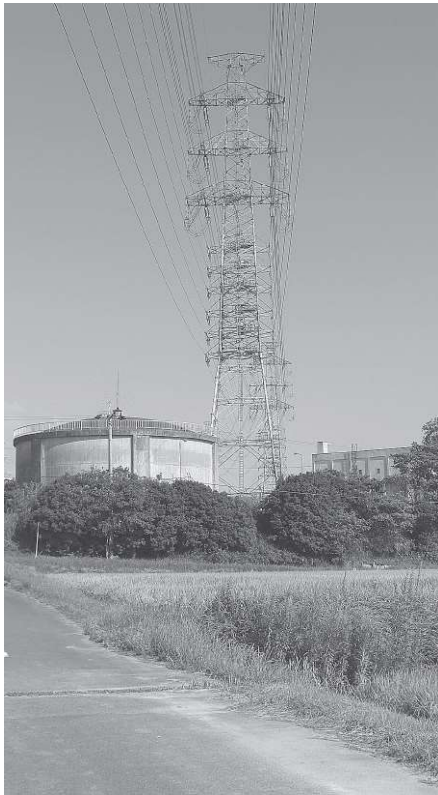
鈴木 一夫 議員

Q

過日の定例会で採択された請願4件について豊かな町づくりのため以下について伺う。①市街化拡大による豊かな町づくり。②阿久比町幹線道路整備。③中断している土地改良事業。④産業立地基本方針案。以上4件に対する現在の状況についてそれぞれ伺う。また、今後の進め方、方針についてもそれぞれ伺う。なお、本件は本町の町づくりの基本でもあるので町長の熱き思いを伺う。

A

①市街化区域の面積は、現在、416haです。今後は、阿久比町総合計画等に基づき、市街化区域の拡大に努めます。②本町の都市計画道路は、7路線27・44kmで、56%が完了済みです。今後も、国・県へ要望を行い、道路の整備に努めます。③阿久比・矢高地区及び宮津・大矢知地区の土地改良事業は、地元有識者や地権者において、準備委員会が開催できるよう事業の推進を図っています。④県産業立地の基本方針では、企業の用地需要を的確に把握し、ニーズに適切した迅速な産業用地開発を進める中で工場用地等を確保する計画です。



草木蓮池配水場

上水道第3供給点計画の促進は事業を進めていく

Q

現在は八ヶ谷、および草木配水場の2ヶ所供給点ですが、ともに阿久比川の西部に位置している。今後は東部地区の安定供給のためにも第3供給点が必要と思われる。①東部地区の安定供給はどのように考えているか。②名鉄区画整理事業が進められているが今後の対応は。③八ヶ谷、草木配水場等の老朽化が進んでいると思うが安全、安心の面で大丈夫か。④以上3点を考えると第3供給点は早急に必要と思われるが今後の考え方を伺う。

A

①第3供給点の建設に合わせて管路等を整備し、給水体制を強化します。②当面は草木配水場から給水し、住宅建設の進捗に合わせて第3供給点を建設して給水します。③草木配水場電気設備等更新工事を本年度から3か年で実施します。昨年度、災害等緊急時に使用する県営水道との緊急連絡管等を八ヶ谷・草木配水場に設置しました。④調査、測量等、用地確保に向け事業を進めていきたいと考えています。



澤田 道孝 議員

町民憲章の検証

啓発に努める

阿久比町
マスコットキャラクター



阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。

- ◎ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。
- ◎歴史と伝統を守り、教養を高めます。
- ◎スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。
- ◎オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。
- ◎ボランティア活動に、すすんで参加します。

Q 平成15年11月に制定された町民憲章は生かされているか。特に①「ホタル飛びかう豊かな自然を守ります」について、本町は自然を真剣に守ることを第一義的な政策としているか。ふれあいの森の養殖場の虫は事業としては失敗していないか。自然発生の虫は徐々に減少しているのではないか。②「ボランティア活動にすすんで参加します」は、まず本町職員が身をもって町民の模範となるべきと思うが実践されているか。阿久比町役場の清掃は業者に発注している。ボランティア活動に町職員の参加が見られないとの意見が多い。ボランティア活動への参加実状は。

A ヘイケボタルは身近な自然のパロメーター。①ホタルを通じて自然を愛する心の輪を広げ、自然環境の保護を進めるとともに、命の大切さ、自然と人間の共生の大切さを後世に伝えていく。ホタルの養殖場で、調査研究している。今年は昨年より多くの地域で確認した。②定期的にゴミゼロ運動、交通安全の街頭啓発を実施している。職員のボランティア活動は把握していないが、自主的に地域活動などに参加するよう啓発に努める。



自宅で養殖をするホタル研究員



子どもから



大人まで



東部小学校「ホタルワールド」幼虫放流



商工会も



職員も

ゴミゼロ運動

阿久比町消防団の榮譽をたたえる 町は支援を

顔が見える関係を築く働きかけをする



枘内美渡子 議員

Q

①県大会の目的、様子等伺う。②団の

現状は。③国が団員募集で作成したポスターの取り扱いは。④女性団員募集の時期ではないか。団は要望している。話し合いを。⑤団員の待遇改善を。⑥HPの更新を心がけ、活躍と魅力が伝わる情報の提供を。⑦出初め式等の際に町民の参加を仰ぐ手だてを。⑧地域との関わりを密にし、団の訓練が活かされる方策の検討を。

A

①消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図る目的です。②定員105名に対して現在84名です。③町内の公共施設に掲示しました。④現段階では考えていない。⑤格別に消防団員だけの優遇は考えていない。⑥更新に心がける。⑦積極的にPRしていく。⑧自主防災会に、消防団が参加する訓練を企画してもらい顔の見える関係を築くよう働きかけていく。

農業再生の取組は

農業委員会、JAで検討

Q

①農業を基幹産業として位置づけている本町の推移を伺う。②自給率の目標を定めるべきではないか。③新規就農者支援。祝い金制度や、所得保障の考えは。④離農者を出さない。原油の高騰が農業経営を圧迫している。対応策は。⑤地産地消の意義。提唱と推進。価格保障の検討を。⑥耕作放棄地の面積と活用策は。⑦農業振興地域整備計画の作成上の見解を伺う。

A

①平成17年農林水産統計年報では、耕作面積が93.2%、農家数は、572戸、農業生産額は、26億5000万円です。②カロリーベースでの食料自給率は43%です。③県・町・JA合同で、新規就農者激励会を実施しています。祝い金を支給する考えはありません。④国・県・JAの制度の活用を啓発します。⑤町の行事等で地産地消のPRに努めます。価格保障の考えはありません。⑥平成18年の調査では、耕作放棄地は、15・3%あります。活用については、農業委員会・JAで検討しています。⑦平成16年5月に策定した計画に基づいて進めています。



今年も豊作だ

改定時期を迎える介護保険事業

生き生きと暮らせる施策を

Q

①介護型療養医療施設の廃止計画がある。対象者と受け皿整備を伺う。②「介護給付適正化」等本町の対応は。③次期計画の介護認定者数等の見込みを伺う。④施設待機者の動向と施設建設の見通しは。⑤剰余金を4期保険料算定に繰り入れるべきと思う。保険料の見直しを伺う。⑥減免の拡充を。⑦「地域包括支援センター」に期待がかかる。今後の方針を伺う。

A

①介護療養型医療施設の対象は、3人です。家族の方にも安心できるように要請します。②介護給付費適正化は、認定状況のチェック等、介護報酬請求には、縦覧点検等を実施しています。③4期の認定者等は、現在集計中です。④施設待機者は、現在97人。⑤4期の保険料の現段階での引き上げは考えていません。⑥減免の拡大は考えていません。⑦高齢者が生き生きと暮らせる施策を展開します。

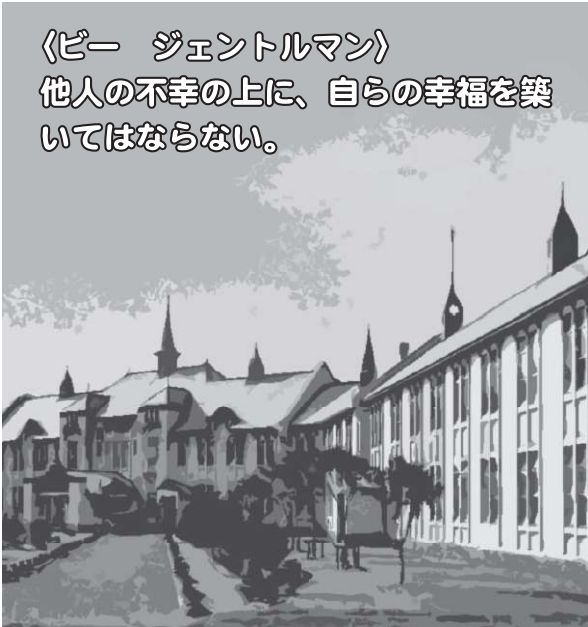
その他の質問項目

- 鳥獣被害特措法の活用を
- 意見続出の「電光掲示板」



二井登喜男 議員

大人が変わろう・子どもが見ている 行事に参加し実践してゆく



Q 昨今、本来の人の生き方が忘れられ、倫理がおろそかになってはいないか。大人にはカネ・モノよりも大切なものがあると子どもたちに伝える責任がある。子どもを守るためにも大人の成長がまず必要ではないか。己を見つめる機会や鏡はいくつあってもよい。価値感や信条の違いを超えて、だれもが納得できる啓発のツールがほしい。町の考えは。

A 本町では、健全で住みよいまちづくりを目指し、オアシス運動などをしています。大人と子どもが一緒に行事に参加し、ふれあうことで地域に対する愛着心が育ち、人との結びつきが深まるものと考えます。町民のまちづくりや生活指針となる「町民憲章」の普及に努めています。事業や行事に参加し、実践することで、あるべき大人の姿に結びつくものと考えます。

Q 安全な妊娠・出産に欠かせない健診。かけがえない命を守るため、これからも受診の重要性を広く伝えるとともに、妊婦健診については公費助成のさらなる拡充を求めたい。町の考えは。

妊婦健診の公費助成拡充を 助成拡大を検討する

A 妊婦健康診査につきましては、母体や胎児の健康確保を図る上で重要であります。平成19年度より妊婦健診の助成を5回とし、平成20年度より産婦健診1回を助成しています。今後につきましては、近隣市町の状況と財政状況を見極め、助成拡大について検討していきます。

子ども医療費の支給拡充を

現段階では、現行制度を維持する

Q これまでも本町は、子育て支援の先進地として歩みを進めてきた。財政の厳しいなかではあるが子ども医療費（通院）の支給拡充を中学卒業まで延ばしてほしい。町の考えは。

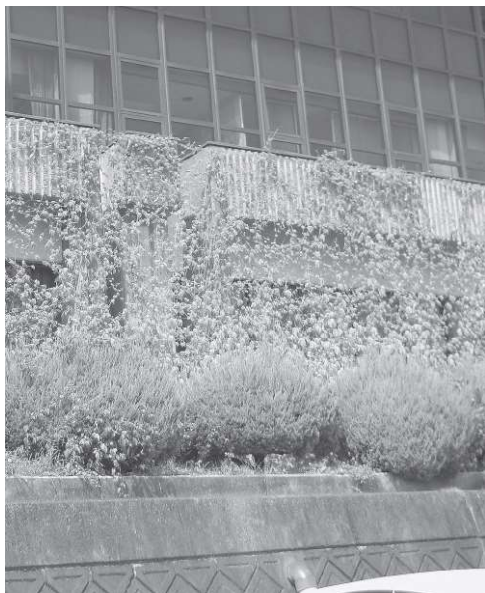
A 本町では、子育て中の家庭の経済的負担の軽減を図り子育てしやすい社会の実現のため本年7月より子ども医療制度を拡大し、小学校を卒業するまでの児童に対し通院医療費の現物給付を実施しました。この通院医療費を中学生まで助成することについては、町の財政状況や近隣市町の助成の動向を把握する必要があるので現段階では、現行制度を維持したいと考えています。

地球温暖化防止対策について

エコ対策を研究する



勝山 制 議員



グリーンカーテン

Q 地球温暖化がもたらす悪影響が、現実味を帯びてきている。温暖化防止への取り組みは各地で始まっている。①レジ袋削減計画の状況は②ノーカーデー、ノー残業デーの推進を③グリーンカーテンの実施状況と今後の取り組みは④ゴミゼロ袋の廃止を⑤給食センターでの食用廃油リサイクルへの取り組みを⑥電光掲示板に太陽光発電活用を。

A ①「レジ袋削減取組店制度」の主旨に基づき、レジ袋の有料化に向けて検討していきま
す。②職員の中でCO₂削減を含め、エコ対策に対する勉強会を行う。③室内温度を下げる効果があるため、家庭での実践行動を啓発していきます。④ゴミゼロ運動推進連絡会にて協議します。⑤近年バイオ燃料が注目されているので、回収、保管等について調査研究します。⑥今後、公共施設への導入について調査研究します。

小さなことでも大きなチカラ はじめよう 1日エコライフ

さあ、やってみよう！	1日で減らせるCO ₂ の量
① 冷蔵庫の扉の開け閉めを少なくした。	12 g
② レジ袋をもらわなかった。	42 g
③ 洗剤やシャンプーを使いすぎず適量使った。	48 g
④ シャワーのお湯は出しっぱなしにせず、こまめに止めた。	86 g
⑤ 部屋を出るときは明かりを消した。	25 g
⑥ テレビをつけっぱなしにせず見ていないときは消した。	45 g
⑦ 冷房は28℃以上に設定した。	111 g
⑧ 部屋を片付けてから掃除機をかけた。	6 g
⑨ 白熱電球を電球形蛍光灯に交換した。	36 g
⑩ 自動車などを使わずに徒歩・自転車・電車などで移動した。	400 g

参考：省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典」他

Q ① 共済期間は平成19年3月をもって終了ですが、現在廃止前交通災害見舞金の支払状況は②平成21年4月に平成21年度交通災害共済事業会計剰余金の確定、そして基金の残金の確定をされ、基金と剰余金を組合市町に配分されることと思います。概算金額と基金と剰余金の使途についての計画は。

交通災害共済制度廃止について 剰余金の使途計画は決まっていない

A ① 今年度中は、見舞金の請求に
ついては従来どおり行っています
が、8月31日現在までに、交通事故に
遭われて見舞金を支払った対象者は、
55名います。②平成20年3月末現在の
阿久比町に配分される剰余金の額は、
概算で、約3580万円程度になると
のことです。なお、剰余金の使途計画
については、現在は、まだ決まってい
ません。



杉野 明 議員

地球温暖化対策は 十分検討します



住民が出来ることと阿久比町が取り組む課題があると考
え以下質問する。①中部国際空港
は空港需要が減であるのに、第2滑
走路計画で、さらに伊勢湾の生態系
の破壊が進む。また、伊勢湾口道路
の建設は地球温暖化対策に逆行では。
②町の施設のCO₂排出量は。また、
2012年までの削減目標は。町全
体の削減目標は。③実効性ある温
暖化防止条例の制定は。④太陽光
発電システム設置補助の増額の考え
は⑤焼却場の建て替えは大型溶融
炉としないように。⑥第5次総合
計画は地球温暖化対策を最重要課題
とすべき。温暖化に対する見解は。
⑦家庭でできる温暖化防止の取り
組みを紹介しては。



①交通基盤の整備
は必要と考える。②
CO₂の排出量は、年間22万
7000kgと試算しま
すが、削減目標は定めてい
ません。③温暖化防止条
例の制定は、今後の研究
課題とします。④今回、
3件分を補正予算で対応
します。⑤平成25年度を
めどに、構成市町と組合
で環境に配慮した機種選
定を行います。⑥環境問
題について、十分検討し
ます。⑦広報等に掲載し
ます。



太陽光発電

西狐谷池の地元説明会を

関係者に事業説明会を行う



西狐谷池で測量が始まっているが、
地元説明会を開催したらどうか？



西狐谷池は、阿久比町南部に位置
する流域面積17・3ha、貯水量2万
1000立方メートルのため池です。

平成19年度、基本設計の作成にあたり、
地元関係者と2回打ち合わせをしました。
今年度、県はボーリング調査、現況調
査を実施し、詳細設計、事業計画を作成
します。その後、関係者に事業説明会を
開催します。



西狐谷池（植地区）

改善提案制度の実施を

気軽に提案できる雰囲気をつくる



稲葉 景久 議員

Q 昨今の景気後退、政局不安定の中において、町財政のさらなる逼迫を懸念している。いま一度町民の視点からもよりよい行政を構築するために、職員一人ひとりが問題意識を持つことで、業務効率向上、経費節減、歳入増加、サービス向上、職場の安全衛生や環境改善が図れ、職務に対するモチベーションやスキルの向上につながる。行政改革の一助として有効な改善提案制度の実施を伺う。



みんなで考えよう

A 職員は、それぞれが自分の仕事を見直し、省ける部分は省き、合理的に処理していかなければ、事務事業が停滞してしまうことから、効率よく業務をこなすことを常に目指している。事務改善の提案制度としては、行政改革の一環である行政評価により事務事業の改善に取り組んでいる。良い意見があれば、気軽に提案できるように職場の雰囲気づくりをしていく。

Q 先の北京オリンピックで「健全な精神は健全な肉体に宿る」との思いを沸々と感じた。子どもたちの不登校、ひきこもり、自殺さらに殺人と、まさに自暴自棄、心の弱い子どもたちにならないためにスポーツの奨励、振興が早急に必要と感じる。以下のことを伺う。

A ①クラブ活動は、4年生以上で約6割の児童がスポーツクラブに参加し、年間16時間程度、スポーツに親しんでいます。
②スポーツ少年団に少年野球、少年サッカー、バスケ、ソフトボール、少林寺拳法があり、299人が参加しています。
③会員は144人で、子どもは5人です。カポエイラ教室などを開催し、親子ビーチボールバレー教室やみんなでウォーキングには子どもも参加しています。他の地区からの申し出はない現状です。

子どもたちにスポーツのさらなる振興を カポエイラ教室などを開催



未来の大リーガー



大村 文俊 議員

ぼうさい探検隊の実施を 全面的に協力していく

Q 子どもたちが、地域をまわり防災・防犯・交通安全の調査を行うことで、地域での防災・防犯・交通安全への対策の再認識と充実を図ることができるといわれています。地域の皆さんと子どもたちがふれあうことで、子どもたちへの関心が高まれば、子どもたちを守ることもつながります。



地域力をつけるためにも、小学生のぼうさい探検隊を実施する考えはあるのか伺う。

A

「ぼうさい探検隊」とは、小学生がグループで「危険な場所」や「防災施設・設備」等を見て回り、危険性と災害への備えについての知識を身につけ、町の安全・安心への関心を高め、防災力の強化や防災意識の高揚を図る取り組みです。平成16年度に南部小学校の総合学習の授業で実施しています。

今後、学校から申し出があれば、全面的に協力していきます。

廃棄物運搬経路への対応は

愛知県などに強く要望する

Q

武豊町衣浦港3号地の廃棄物最終処分場が、平成22年度に供用開始された時に、阿久比インターから一日往復84台の車両が通行する。半田常滑線の工事が遅れば一日往復194台の車両が名古屋半田線を通行することになる。

住民の安全を第一に考えた交通安全対策への取り組みと、廃棄物運搬車両の運行経路の分散化への阿久比町としての対応は。

A

県道名古屋半田線の卯坂地区は、道路幅員8・5mで歩道のない箇所もあります。現在、県は道路の拡幅工事を進めています。危険な箇所があれば、安全対策を県に要望します。

廃棄物車両の運搬経路の分散については、阿久比インターに集中しないように、愛知県並びに愛知県臨海環境整備センターに強く要望します。

県道名古屋半田線工事後の今後は

平成22年度完了目標

Q

県道名古屋半田線は、生活道路の重要路線として位置づけられている道路であり、災害時の避難経路や、廃棄物最終処分場の運搬経路としても、それから子どもたちやお年寄りの利用する道路としても、多くの皆さんが多様な用途で利用されています。

卯坂地区内の歩道設置工事の用地、物件移転の今後の見通しと全線完成予定は。

A

県道名古屋半田線の卯坂地区は、道路幅員16m、3・5mの歩道が両側に計画されています。

未買収用地については、県を始め関係者と共に地権者と交渉をしています。また、平成22年度を完了目標年度としています。



運搬車両

ふるさと寄付金制度の影響は

税金に対する予測は難しい



三留 亨 議員

ふるさと寄付金の活用メニュー

1. 安全で安心できるまちのために



2. お年寄り、障がい者のために



3. 子どもの将来のために



4. 明るく健康的な生活のために



5. 環境を保護するために



6. 歴史・文化を大事にするために



7. 町政全般に

Q

本年1月より「ふるさと納税」制度がスタートした。疲弊している地方財政の改善策として有意義な制度であるが、一方、地方公共団体の税金が変動するという不安定要因を抱えることでもある。特に本町のように転入者の多い自治体においては、少なからず影響があると考えられるが、本町に対する影響をどのように考えているか。

A

本年1月からの地方自治体に対する寄付金（納税）制度の対象となる。この制度による、寄附金控除は、平成20年中の所得から対象になるので、平成21年度の個人町民税から影響する。今の状況の中で影響額を予測することは、非常に困難であると考える。本町を応援してくれる方が現れ、ご寄附いただけることを望む。

レジ袋有料化の有効性は

マイバックでゴミ削減

Q

CO₂排出量削減対策として、レジ袋の有料化が本町も導入の計画がされているようであるが、一部の科学者や技術者から、石油製品の製造メカニズムから見ると、効果に疑問が指摘され、提唱する環境庁の説明も変化していると聞く。また、この制度は消費者・町民に対して経済的な負担を強いるものである。レジ袋有料化の有効性について質問する。

A

循環型社会の形成推進のため、町民、事業者及び行政が協働して、レジ袋の削減を行い、ゴミ排出量の削減に本町も実施に向け検討していきます。消費者には少なからず負担が係りますが、貴重な資源を節約するためにも、買い物に際し、マイバックを持参していただくよう、ご協力をお願いしていきます。



追跡レポート 2年前のあの答弁はどうなった!!

過去に質問した内容が現在どうなっているか調査しました。

Q 農地・水・環境保全対策事業は

A 町は、平成2年度から活動している阿久比土地改良区農業用水施設等維持管理協議会との整合を図りながら事業の推進をしてまいります。

現在は

平成19年度から板山、草木の2地区において板山環境保全チーム、草木みどりサミットが組織され、同事業に取り組んでいます。



草木みどりサミット

Q ごみ最終処分場確保対策は

A 東部知多衛生組合の最終処分場は埋立てがほぼ完了し、現在衣浦ポートアイランドとアセックに依頼している。両施設ともあと数年で終了し、その後は武豊沖に県が計画している施設を検討しています。

現在は

アセックとは
(財)愛知臨海環境整備センター

衣浦ポートアイランドとアセックの最終処分場は、平成21年度で終了。東部知多衛生組合は、平成22年度より、衣浦港3号地に最終処分をおこないます。



航空写真は愛知県衣浦港務所より提供

子育て支援のため平成20年7月診療分より子ども医療制度を拡大し、小学校卒業までの児童に対し通院医療費の現物給付を実施しました。

現在は

A 拡大を続ける介護保険や老人保健の負担、また障害者への対応、子育て支援など、福祉をとりまく環境は厳しいものがあり、当面、実行は困難と考えます。

Q 医療費支給を児童まで

医療費支給を児童まで

視察研修報告

総務文教委員会

自立に向けた将来ビジョン

行財政改革の取り組み、市町村合併の合併協議の経緯及び将来像について兵庫県太子町を視察しました。

太子町は、1市4町による合併協議から離脱した後、「自立に向けた将来ビジョン」を引き継ぎ、財政基盤の強化を最優先課題として、平成19年度までの3年間で11億9000万円の効果額となり、当初見込額を約3億4000万円上回っています。

本町にとっても、行政改革の取り組みについて、学ぶところが多くありました。

2日目は、神戸市にある「人と防災未来センター」を視察し、13年前の阪神・淡路大震災を思い起こし、改めて防災に対する意識を高めました。



太子町役場にて

建設厚生委員会

近郊農業とバイオマスタウン構想

都市近郊農業について、兵庫県篠山市の施策を調査しました。同市は、京阪神から一時間の地理的条件、歴史的資源、黒大豆など特産品の地域資源を生かし、「丹波ささやまふるさと遊農・楽農特区」の認定を受け、都市住民との交流、農地の多面的な活用により、地域と農業の活性化に取り組んでいます。

2日目は、稲わら・粉殻・家畜排泄物、木屑、食品廃棄物、下水道汚泥など、地域で発生する有機性資源を総合的に活用し、環境保全と新産業、雇用を創造する「バイオマスタウン構想」について三重県伊賀市を調査しました。



伊賀市役所にて

次回定例会

12月4日(木) (開会予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎48-1111 議会事務局へ

編集後記

第3回定例会が閉会し、「ほっと」する間もなく議会、だよりの編集に精をだしています。

安心していただける食の安全が脅かされ、また円高加速で日本経済は厳しさを増しており国民にとって不安材料がいつぱいの昨今です。今後より一層、愛読される誌面作りに努めたいと思います。